

都市再生整備計画 事後評価シート

油津地区

平成26年3月

宮崎県日南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県	市町村名	日南市	地区名	油津地区			面積	312ha
交付期間	平成22年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	524.2	国費率	0.403		

1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	道路事業(平野線)、地域生活基盤施設(まちなか案内サイン整備事業)、高質空間形成施設(西町材木町線、下町線、上町海岸線、春日西町・西町堀川線、岩崎乙姫線)									
		提案事業	地域創造支援事業(景観形成推進事業、歴史的資産保存事業)、事業活用調査(事業効果分析事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動推進事業)									
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	高質空間形成施設(上町海岸線) 高質空間形成施設(春日西町・西町堀川線)				計画内容の変更(回遊路線の変更)により事業を削除 路線名の変更に伴い事業を削除及び他路線へ編入			影響なし		
		提案事業	地域創造支援事業(歴史的資産保存事業)				建物の損傷が著しく、改修方法の決定に時間を要したことにより事業を削除			影響なし		
	新たに追加した 事業	基幹事業	高質空間形成施設(上町堀川筋線)				計画内容の変更(回遊路線の変更)及び路線名の変更ににより事業を追加			影響なし		
		提案事業	地域創造支援事業(全国運河サミット実施事業)				運河を有する自治体との調整により、本市でサミットを実施することとなったため事業を追加			影響なし		
	交付期間 の変更	当 初	平成22年度～26年度			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		影響なし				
変 更	平成22年度～25年度											

2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	1日平均歩行者・自転車通行量	人/日	2,351	H21	3,900	H25		2,950	△	あり なし	通行量を増加させる直接的な取組が少なかったことや、商店街周辺の核事業である「テナントミックスサポート事業」が、平成25年7月に動き出したことから、調査時点で思うような成果が見られなかった。	平成26年9月
	指標2	社会基盤整備に対する満足度 5段階評価		3	H21	4	H25		3	△	あり なし	道路等の整備により、魅力的な空間を形成することができたが、賑わい創出や生活環境の向上に余り変化が見られないため、思うような成果が見られなかった。	—

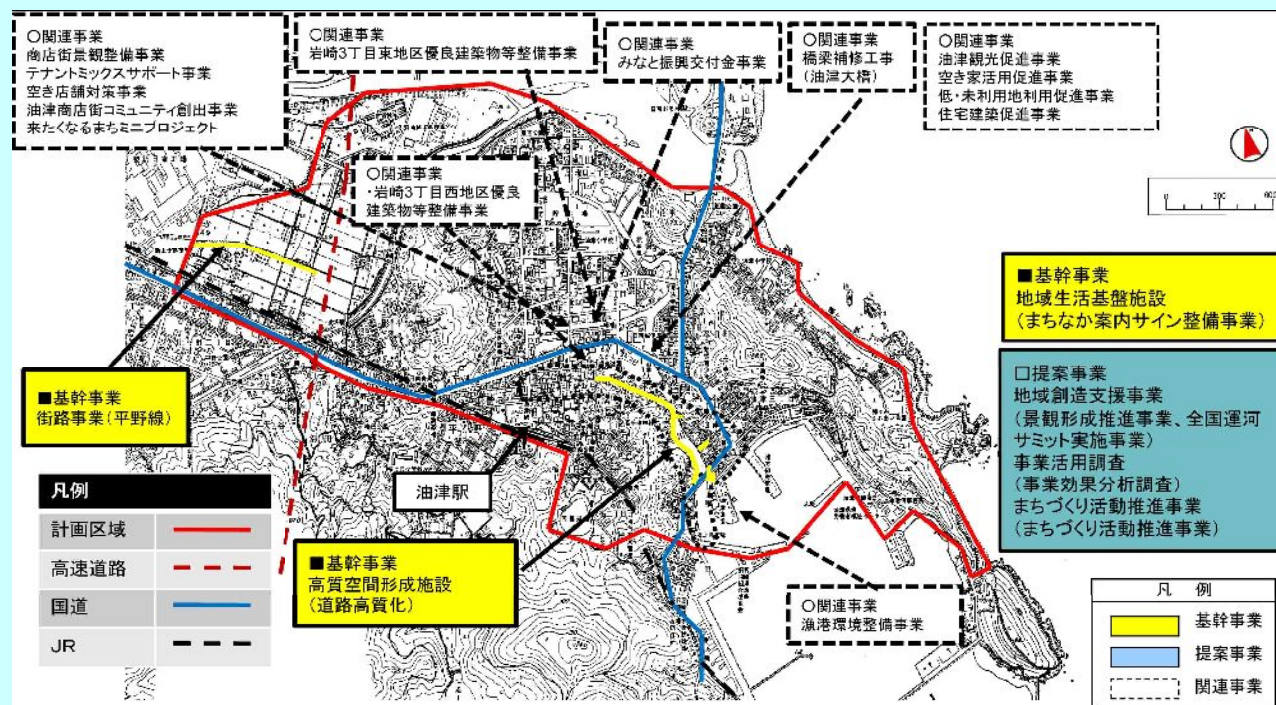
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の 数値指標1	まちづくりに対する満足度	5段階評価	—	—				3.6			「まちづくりに対する満足度」について、「満足」「やや満足」の回答が半数を超えていることから、当該事業を含めたこれまでの取組については、概ね地区住民の理解と満足を得られている。	—
その他の 数値指標2	まちづくりに対する意識の向上	5段階評価	—	—				3.8			「まちづくりに対する意識の向上」について、「大変向上した」「向上した」の回答が約80%あることから、中心市街地活性化基本計画に基づく取組によって、意識の向上が図られている。	—	

4)定性的な効果 発現状況													
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					油津まちづくり会議において、進捗管理を図るとともに、適宜まちづくりの成果を確認する。		
	住民参加 プロセス		中心市街地活性化を官民一体となって推進するため、平成24年8月に「油津まちづくり会議」を設置し、会議及びワーキングで、情報の集約及び共有、事業間調整等を行い効果的に事業を進めた。また、自由に意見が言える環境ができたため、市民の理解と関心が高まった。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					情報の集約と共有及び市民との合意形成の場として機能したため、引き続き会議を開催することとしているが、組織のスリム化や体制の一部見直しにより、更に効果的な会議運営を検討する必要がある。		
	持続的なまちづくり 体制の構築		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					市民活動等を促進する事業展開を検討する。		

様式2-2 地区の概要

油津地区(宮崎県日南市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
歴史的資産を活かしたまちづくりを推進し、まちの賑わいを再興する 目標1:登録文化財や地区内に残る町家を散策・回遊できるルートを整備し、来訪者の増加を図る。 目標2:商店街周辺のエリアと、堀川運河周辺のエリアを結ぶルートを整備し、市民や来訪者にとって快適な環境整備を行い、中心市街地の活性化や交流人口の増加を図る。 目標3:赤レンガ館をはじめ、油津地区内に現存する歴史的な景観の保全・形成に関する諸施策を実施し、魅力的なまちづくりを推進する。 目標4:重要港湾油津港、東九州自動車道日南IC及び本市の工業地域を結ぶ道路網の整備により、来訪者のアクセス性の向上、及びまちなかの渋滞緩和を図る。	1日平均歩行者・自転車通行量	単位:人/日	2,351	H21	3,900	H25	2,950	H25
	社会基盤整備に対する満足度	単位:5段階評価	3	H21	4	H25	3	H21
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	・通行量の増加を図るために、道路の高質化や案内サインの整備を基盤に、新たな拠点施設の整備や回遊を促進するソフトプログラムの構築が必要である。 ・会議やワークショップによる市民参画をより発展させ、休憩スペースの提供や語り部としての活動など、まちでのおもてなしにおける官民協働の取組を推進する必要がある。 ・人を集めるために駐車場の確保が課題であり、テナントミックスサポート事業や案内サイン整備事業等と合わせて、駐車場配置計画を検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・油津まちづくり会議を中心として、中心市街地活性化に関する事業の調整を継続しながら、市民参画の機会を創出する。 ・油津赤レンガ館や堀川資料館、堀川夢ひろばなどの既存拠点に加えて、新たに整備予定の観光拠点施設の魅力づくりを図るとともに、まちなかを回遊させる着地型観光プログラムの開発を検討する。 ・中心市街地活性化基本計画に基づき、各事業を円滑に進めながら、目標達成のために必要な事業間調整や新たな取り組みの推進を図る。